

2016年7月7日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信(No.28) 「実践女子大生における授業外の時間の過ごし方」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「授業外の過ごし方」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は58サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計学科(担当：竹内)」、「経営学(担当：篠崎香織)」、「マーケティング(担当：斉藤明)」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、実践女子大学生が「自分たち自身」の消費活動、ライフスタイル等を科学する研究会です。

総括

渋谷キャンパスに所属する実践女子大学生は、どのような授業外の時間の過ごし方をしているのか、「授業外の時間の過ごし方」の実態について、58のサンプルの実践女子大生（3年生47人、4年生11人）から回答を得ました。その結果、空きコマの過ごし方はコマ数によって異なり、授業前や授業後の過ごし方はあまり違いがみられないことが分かった。また、自由に使えるお金の金額や住居形態に関係性は見られなかった。

調査結果のポイント

(1) **3年生で空きコマがある人は70%もいるが、4年生は73%の人が空きコマがない**
空きコマはあるか調査したところ、あると回答した人が62%、ないと回答した人が38%だった。また、学年と空きコマに関係性はあるのか調査したところ空きコマのある3年生は70%で4年生は27%、空きコマのない3年生は30%で4年生は73%という結果になった。

(2) **空きコマの最も多い過ごし方は課題・勉強と友人とお喋りだった**
空きコマでの過ごし方はコマ数によって違いがあった。空きコマがあると答えた人のうち、42%が1コマだった。

空きコマが1コマの人で一番多い過ごし方は、友人とお喋りで24%だった。次いで多

かったのが課題・勉強で 22%、三番目に多かったのがカフェまたは外食で 18%という結果だった。

空きコマが 1 コマ(昼休みを含む)の人も 42%いた。昼休みを含まない 1 コマの人たちと同じ人数だった。1 コマ(昼休みを含む)人で一番多い過ごし方は、課題・勉強で 34%。次いで多かったのは睡眠で 16%、三番目に多かったのは友人とお喋りで 14%という結果だった。

空きコマが 2 コマ(昼休みを含まない)の人は 3%だった。

空きコマが 2 コマ(昼休み含む)の人は 8%だった。一番多い過ごし方は課題・勉強で 33%、次いで多かったのがカフェまたは外食と睡眠で 22%だった。

空きコマが 3 コマ以上の人は 6%いた。課題・勉強、睡眠、バイト、友人とお喋りと分散した。

これらの結果から、空きコマの数は関係なく課題・勉強は多いことがわかった。また、友人とお喋りは 1 コマが一番多く、他はあまり見られなかった。カフェまたは外食は空きコマが多ければ多いほど増えるのかと思ったが関係性はなく、1 コマ(昼休みを含まない)の人が一番多かった。睡眠は 1 コマ(昼休み含まない、含む)が多く、他にはあまり見られなかった。

(3) 空きコマの過ごし方は、課題・勉強が最も多い

空きコマがあると答えた人のうち、空きコマを大学内のみで過ごす人が 40%、大学以外だけで過ごす人は 0%、大学内・大学外の両方で過ごす人が 60%という結果になった。また、具体的になにをして過ごしているかという調査では学内のみ、両方共に課題・勉強をしている人が最も多かった。大学内で空きコマを過ごす場合は課題・勉強、睡眠、友達とおしゃべりをして過ごすことが多く、大学外で過ごす場合は買い物や外食が多いことがわかった。

(4) 学校がある日と、ない日で過ごし方はあまり変わらない

学校がある日の授業前または授業後の過ごし方は、バイトと回答した人が 23%と最も多く、家でのんびりと回答した人が 20%、友人・家族・1 人で外食が 15%と続いた。また、授業前後の過ごし方と学校がない日の過ごし方は同じということが今回の調査を通してわかった。授業があるときも、学校のない日も基本的に過ごし方は変わらないということが言える。

(5) 休みの日はバイトをして過ごす人が多い

学校のない日の過ごし方はバイトが一番多く、次いで家でのんびり過ごす、友人・家族・一人で外食だった。学校のない日の過ごし方で一番少なかったのは習い事またはダブルスクール、次いで部活という結果だった。

この結果から学校がないから家にいる、外で遊ぶだけということではないことがわかった。またバイトをするだけでなく、家でのんびりする日もあるということが判明した。

(6) 自由に使えるお金と空きコマの過ごし方の関係性

使えるお金の金額と空きコマの過ごし方に関係性はない。一ヶ月に自由に使える金額と、空きコマを学内で過ごす人と、学内・学外両方で過ごす人の空きコマの使い方の関係をみたところ、使える金額が多いほど学外で過ごすなどの関係性は見られなかった。

(7) 住居形態と過ごし方の関係性

一人暮らしの人と実家住みの人とでは学校のない日の過ごし方が違うことがわかった。一人暮らしの人は買い物、バイト、家でのんびりする人が一番多く、全体の21%だった。次に多かったのはテレビ、DVD鑑賞で全体の17%という結果になった。

実家住みの人はバイトが一番多く全体の27%もいた。次に多かったのは家でのんびりする人で全体の17%、三番目に多かったのは友人、家族、一人で外食で全体の15%という結果だった。実家住みの人たちはこの3つが圧倒的に多かった。その他の人で一番多い過ごし方は買い物で全体の33%だった。

これらの結果からバイト、家出のんびりする事は住居形態に関係なくどちらも多かった。実家住みの人で友人、家族、一人で外食が多いのは家族で住んでいる特徴が出ていた。反対に実家住みの人には見られなかったテレビ、DVD鑑賞が一人暮らしの人は多かった。これは一人暮らしの特徴が出ていた。

調査結果について

<調査概要>

1. 調査対象：実践女子大生 3,4 年生(渋谷キャンパス在生)
2. 調査方法：質問紙によるアンケート
3. 調査期間：2016 年 5 月
4. 有効回答者数：58 人
5. 回答者の属性：【実践女子大学生：学年】3 年：81%、4 年：19%

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3 年 相澤茉穂里

3 年 玉井優理

3 年 山田夏帆

調査結果データ

- (1) 空きコマがあるか調査したところ、あると回答した人が62%、ないと回答した人が38%だった。

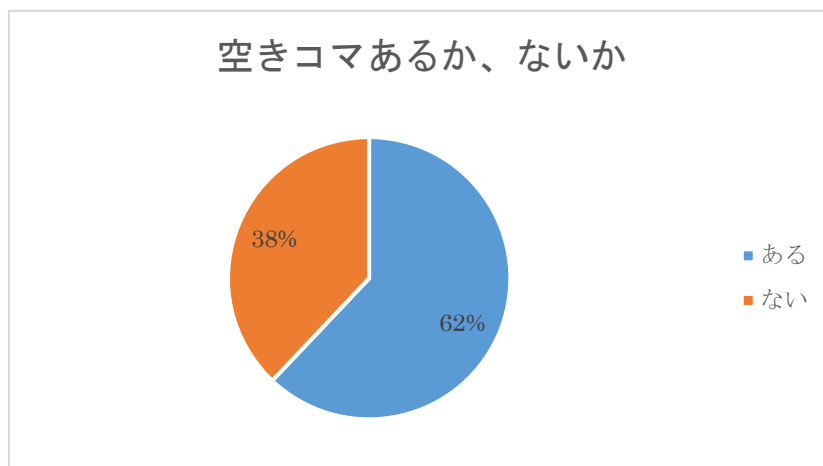


図 1-1 実践女子大生における空きコマの有無

- (2) 空きコマがあると回答した人に一日にどのくらい空きコマがあるか調査したところ一番多かったのが1コマと1コマ(昼休みを含む)の42%、次が2コマ(昼休みを含む)の8%、次が3コマ以上の6%、一番少なかったのが2コマ(昼休みを含まない)の3%であった。

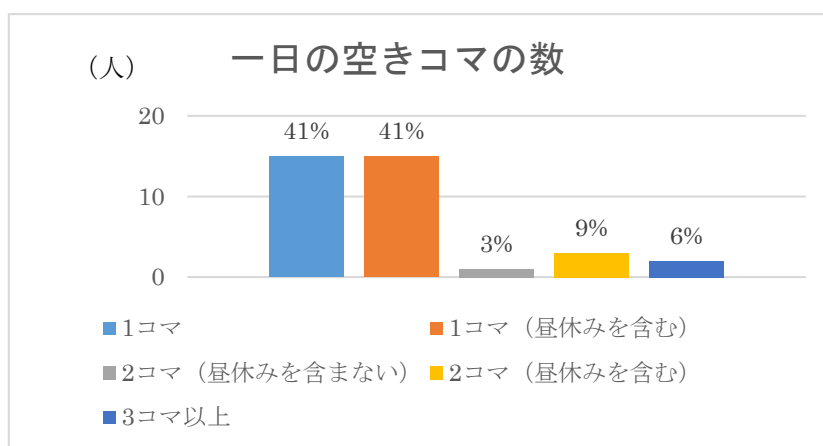


図 1-2 実践女子大生における一日の空きコマ数

- (3) 空きコマがあると回答した62%に、空きコマの過ごし方について学内のみ、学外のみ、両方、でアンケートをとったところ学内のみと答えた人は44%、学外のみと答えた人は0%、両方と答えた人は56%だった。

a.カフェまたは外食	b.課題,勉強	c.睡眠	d.買い物	e.バイト
f.美容院,ネイル	g.DVD鑑賞	h.読書	i.お散歩	j.何もしない
k.友人とお喋り	l.その他			

空きコマの使い方をそれぞれ調査したところ

<学内のみ>

	過ごし方	(%)
1	課題,勉強	34
2	睡眠	23
3	友人とお喋り	21

一番多かった b.課題, 勉強が 34%、二番目に多かった c.睡眠が 23%、三番目に多かったのが k.友人とお喋りが 21%だった。

<両方>

	過ごし方	(%)
1	課題,勉強	24
2	買い物	19
3	カフェまたは外食	17
3	友人とお喋り	17

一番多かった b.課題, 勉強が 24%、二番目に多かった d.買い物が 19%、三番目に多かったのが a.カフェまたは外食と k.友人とお喋りが 17%だった。

(4) 学校がある日の授業前、授業後の過ごし方について調査したところ、一番多かったのはバイトで 23%、二番目に多かったのは家でのんびりで 20%、三番目に多かったのは友人・家族・1人で外食の 15%だった。一番少なかったのは習い事またはダブルスクールと部活でともに 1%となっており、少数だった。

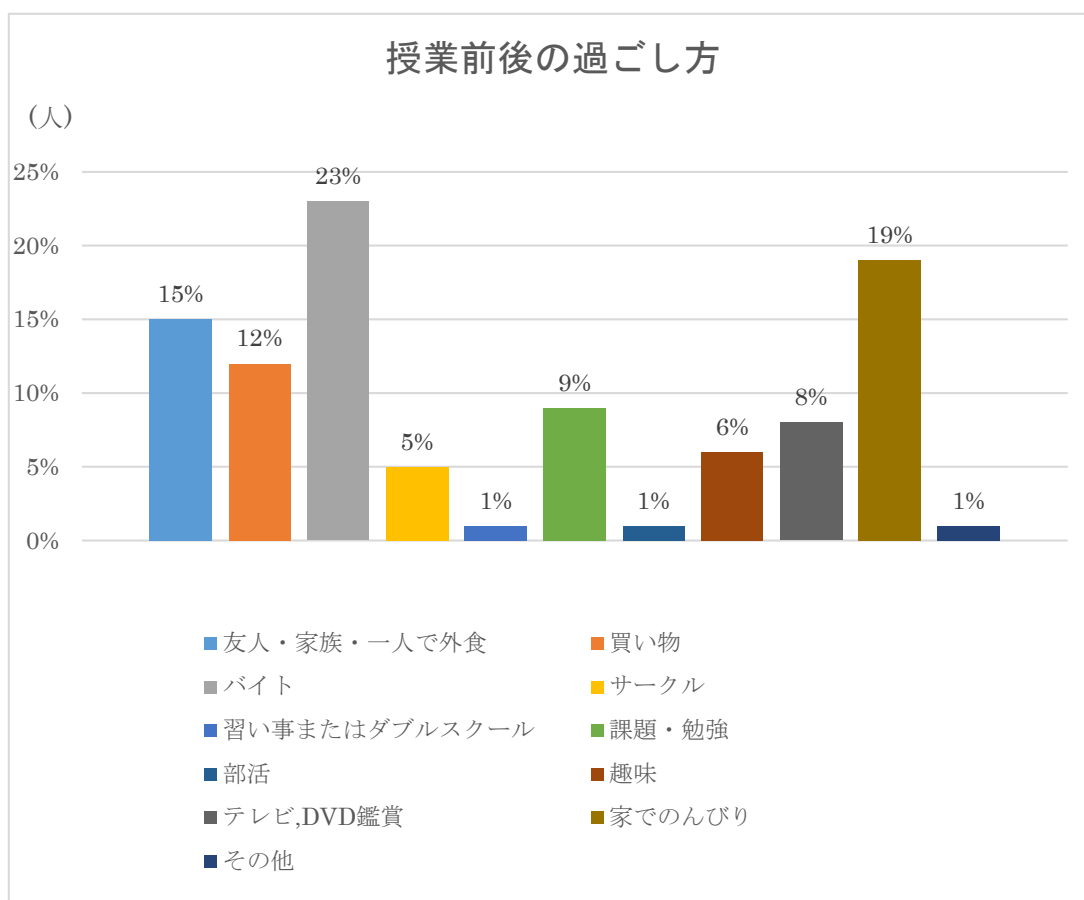


図2 実践女子大生における授業前・授業後の過ごし方

(5) 学校のない日の過ごし方について調査したところ、一番多かったのはバイトで26%、二番目に多かったのは家でのんびりで18%、三番目に多かったのは友人・家族・一人で外食で14%だった。一番少なかったのは習い事またはダブルスクールだった。

この調査結果から学校のない日の過ごし方は多くの人がバイトか家でのんびり過ごすか外食に行くということがわかった。また習い事やダブルスクール、部活は少ないということが調査を通してわかった。

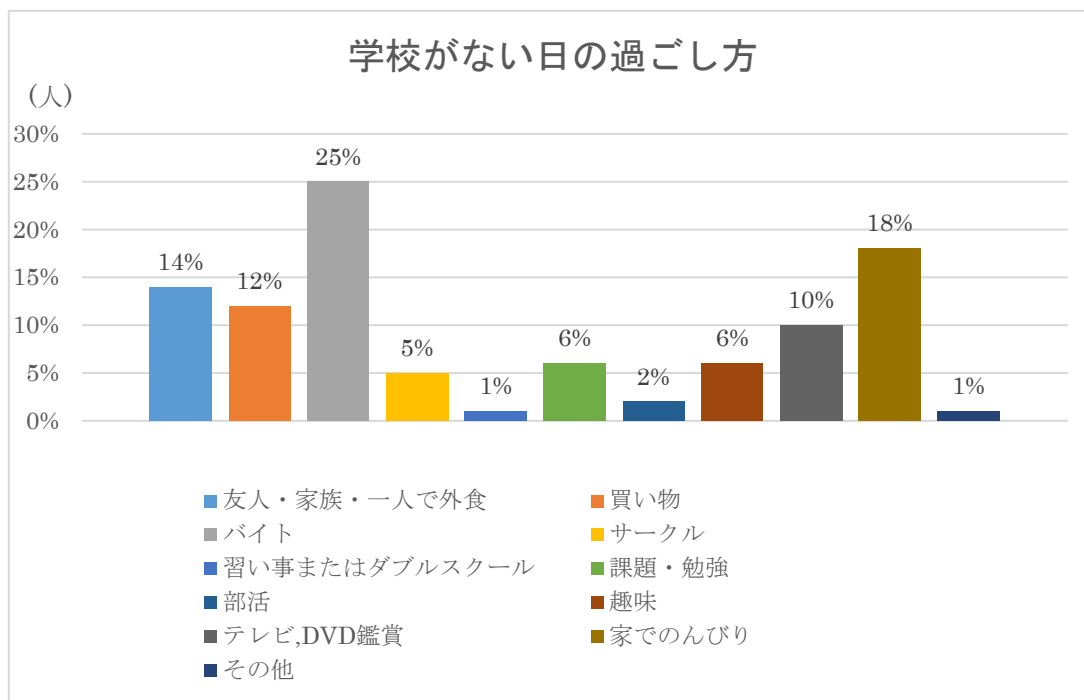


図3 実践女子大生における学校がない日の過ごし方

(6) 1ヶ月に使えるお金を下記の選択肢から回答してもらった結果もっとも多かったのが40,000~50,000円の28%、次に多かったのが20,000~30,000円と50,000~60,000円の17%人、もっとも少なかったのが70,000~80,000円の2%で0~5,000円と回答した人はいなかった。

a. 0~5,000円	b. 5,001~10,000円	c. 10,001~20,000円
d. 20,001~30,000円	e. 30,001~40,000円	f. 40,001~50,000円
g. 50,001~60,000円	h. 60,001~70,000円	i. 70,001~80,000円
j. 80,001円以上		

(7) 住居形態について調査したところもっとも多かったのが実家で 83%、次に多かったのが一人暮らしで 14%、その他が 3%で理由は同棲などがあった。

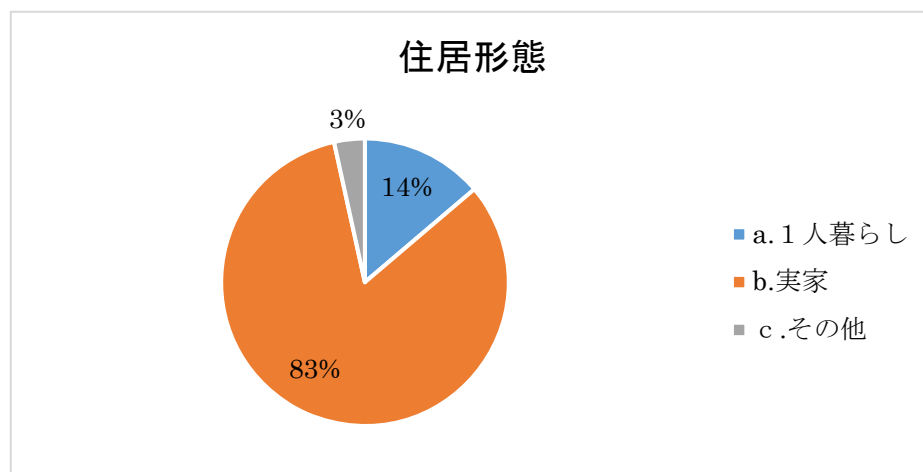


図4 実践女子大生における住居形態